

業務仕様書

1 業務名

札幌市がん検診受診勧奨 WEB 広告制作及び運用業務

2 業務目的

本業務は、以下の者を対象とした札幌市がん検診の受診勧奨として WEB 広告を掲出し、札幌市がん検診に関する WEB サイトに誘導することを目的とする。

(1) 札幌市子宮がん検診受診勧奨

札幌市内に在住する 20 歳～64 歳の健康保険・職場等でがん検診を受診する機会のない女性

(2) 札幌市乳がん検診受診勧奨

札幌市内に在住する 40 歳～64 歳の健康保険・職場等でがん検診を受診する機会のない女性

(3) 札幌市がん検診受診勧奨

札幌市内に在住する 40～64 歳の健康保険・職場等でがん検診を受診する機会のない者

3 履行期間

契約締結日から令和 7 年 1 月 17 日（水）まで

4 業務内容

以下のとおり、Google ディスプレイ広告及び Google リスティング広告を運用すること。

(1) 広告の制作

ア 概要

イラスト等を用いたバナーや閲覧する者の関心を引くことができるようなテキスト広告により、下記 URL に示す札幌市公式ホームページの当該事業に関するページへ誘導を促すことができる広告を制作する。

(<https://www.city.sapporo.jp/hokenjo/sapporosigankensin.html>、

検索ワード：札幌市 がん検診)

イ 広告制作

(ア) ディスプレイ広告用バナー

以下のとおり静止画で広告を制作すること。また、広告は掲載先のウェブサイトにも適合するように制作するものとし、詳細は委託者と受託者が協議のうえ決定すること。

- ・ バナーは、札幌市子宮がん検診受診、札幌市乳がん検診受診勧奨バナー及び札幌市がん検診受診勧奨バナーの 3 種類とし、それぞれについて 3 サイズ

(300 ピクセル×250 ピクセル、300 ピクセル×300 ピクセル及び 1200 ピクセル×628 ピクセル) 作成すること。

- ・ 上記 3 種類のパナーのいずれにも別添のウェルネスロゴを使用するとともに、別添けんしんけん・あんしんけんのイラストのうち一つを使用すること。
- ・ 札幌市子宮がん検診受診勧奨バナーには、別途提示する HPV ワクチン接種に係るロゴ等も併せて使用すること。
- ・ 別添の札幌市がん検診チラシや第 2 次札幌市がん対策推進プラン（抄）を参考として、札幌市がん検診の受診勧奨に係るキャッチフレーズを作成し、上記 3 種類のパナーに記載すること。
- ・ 上記 3 種類のパナー案について、それぞれ 3 つ以上作成すること。
- ・ 上記 3 種類のパナーについて、下記(2)アの配信期間の開始までに校正を 3 回行うこと。

(イ) リスティング広告用テキスト

- ・ 別添の札幌市がん検診チラシや第 2 次札幌市がん対策推進プラン（抄）を参考として、3 種類以上作成すること。内容は委託者と受託者が協議のうえ決定すること。
- ・ 上記 3 種類のテキストについて、下記(2)イの配信期間の開始までに校正を 3 回行うこと。

(2) 広告の運用

ア Google ディスプレイ広告

配信エリア	札幌市全域
配信デバイス	スマートフォン、パソコン、タブレット
セグメント設定	・ 札幌市子宮がん検診受診 性別：女性 年齢：18 歳～64 歳 ターゲット：就業なし ・ 札幌市乳がん検診受診勧奨バナー 性別：女性 年齢：35 歳～64 歳 ターゲット：就業なし ・ 札幌市がん検診受診勧奨バナー 性別：すべて 年齢：35 歳～64 歳 ターゲット：就業なし
配信期間	令和 6 年 9 月 15 日から令和 6 年 12 月 14 日まで（3 か月間）

イ Google リスティング広告

配信エリア	札幌市全域
配信デバイス	スマートフォン、パソコン、タブレット
セグメント設定	性別：すべて 年齢：18 歳～64 歳
配信期間	令和 6 年 9 月 15 日から令和 6 年 12 月 14 日まで（3 か月間）

(3) その他

ア (2)ア及び(2)イの広告（以下「各広告」という。）について、Google に支払う運用

期間中の配信費用の合計を 70 万円（税抜き）とし、期間中に使い切ること。なお、70 万円（税抜き）は Google に支払う金額であり、広告運用にかかる設定費や運用手数料等は含まないものとする。また、上記(2)ア・イのとおり指定した広告配信期間内に配信費用を使い切ることができなかった場合は、広告配信期間を延長することができる。広告配信期間を延長する場合は、委託者及び受託者が協議のうえ配信期間やその他諸条件を決定すること。

イ 各広告への配信費用は、より高い効果の見込めるものに多く傾斜して配分すること。配信費用の配分は、広告配信前及び(4)アで随時状況を報告し、必ず委託者の了解を得ること。

ウ 各広告のセグメント設定は基本的な項目のみを記載しているため、別途必要な項目について、委託者と受託者が協議のうえ設定すること。

エ セグメント設定をして掲載される掲載先の想定に合わせた広告表現を検討して運用すること

オ 運用を行うなかで、それぞれの広告のクリック率を把握のうえ、クリック数が最大となるよう、より高い効果の見込める運用手法を常に模索すること。

カ 委託者が所有するサーバは使用せず、受託者にて用意したサーバを利用し、広告を運用すること。

キ 受託者は運用方法について委託者と緊密に協議を行こと。

(4) 広告運用結果の報告

以下の報告を行うこと。

ア 定例報告（2週に一度）：広告表示数、クリック数、配信費用などがわかり、状況確認を行うことができるもの。

イ 全体総括（契約期間満了時）：契約期間中の広告配信結果の総括。

5 成果の帰属及び秘密保持

(1) 受託者は、本業務の成果物に対し、著作権法（昭和 45 年法律第 48 号）第 21 条（複製権）、第 23 条（公衆送信権等）、第 26 条の 2（譲渡権）、第 26 条の 3（貸与権）、第 27 条（翻訳権、翻案権等）及び第 28 条（二次的著作物の利用に関する著作者の権利）に規定する権利を、成果物の納入、検査合格後、直ちに委託者に無償で譲渡するものとする。

(2) 委託者は、著作権法第 20 条（同一性保持権）第 2 項に該当しない場合においても、その使用のために目的物の改変を行うことができるものとする。

(3) 受託者は、成果物に関する著作者人格権を、委託者又は委託者が指定する第三者に対して行使しないものとする。

(4) 受託者は、成果物に使用する映像、音楽、写真、イラストその他資料、データ等について、第三者の著作権法に規定する権利、所有権その他一切の権利を侵害するものではないことを保証すること。また、成果物に関し、第三者による権利侵害の訴えその他の紛争が生じたときは、受託者は、自己の費用及び責任においてこれを解決するものとし、かつ委託者に何らかの損害を与えたときは、その損害を賠償するものとする。

- (5) 受託者は、本業務の履行にあたり知り得た一切の事項について、外部への漏洩がないように注意すること。また、委託者が提供する資料等の第三者への提供や目的外使用をしないこと。
- (6) 受託者は、本業務を履行する上で個人情報を取り扱う場合は、「個人情報の保護に関する法律」及び「札幌市個人情報保護条例」を遵守しなければならない。また、本業務で扱う個人情報の委託者への提供については、必ず本人の同意を得た上で実施すること。

6 完了報告書

受託者は、本業務を完了したときは、速やかに当該委託業務の完了報告書及びその成果品を委託者に提出しなければならない。

7 特記事項

- (1) 本業務の履行にあたり疑義が生じた場合は、委託者及び受託者が協議のうえ処理する。
- (2) 本業務の履行にあたり事故等があった場合は、受託者の負担と責任で解決すること。
- (3) 本業務の履行にあたり費用等が発生した場合は、受託者の負担とすること。
- (4) 本業務の履行にあたっては、本市の環境マネジメントシステムに準じ、環境負荷低減に努めること。

8 担当

札幌市保健福祉局ウェルネス推進部ウェルネス推進課

がん・たばこ対策担当係 泊口（とまりぐち）

〒060-0002 札幌市中央区北二西1丁目1-70RE 札幌ビル7階

電話：011-211-3513 FAX：011-211-3521



ウェルネス何スル?
～カラダにイイこと、もう一歩～



イラストの色や表情、ポーズ等の
改編はご遠慮ください。

1



2A



3A



4A



5A



6A



7A



2B



3B



4B



6B



7B



8A



8B



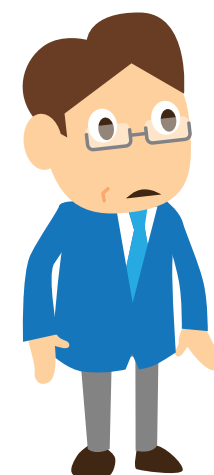
9A



9B



10A



10B



11A



11B



札幌市がん検診のご案内

札幌市では、市内にお住まいで、職場等ではがん検診を受ける機会のない方を対象にがん検診を実施しています。

◎各検診データにつきましては、札幌市が行う健康増進事業に活用する場合があります。

種 類	対 象 年 齢 ※受診日当日	検 査 項 目	実 施 場 所	自己負担額 (窓口でのお支払)
胃がん 検診	満50歳以上で 原則※偶数歳の方 (2年に1回) ※直前の偶数歳時に札幌市胃がん検診を受診していない奇数歳の方は受診可能です。	どちから選択できます	○地区会館等(町内会回覧板等で予約)	1,100円
		胃部エックス線検査 問診	○各区保健センター等(予約制)	2,200円
		胃部エックス線検査 (バリウム検査)	○北海道対がん協会札幌がん検診センター※1	3,200円
		内視鏡検査 問診	○実施医療機関※3	3,500円
大腸がん 検診	満40歳 以上の方 (1年に1回)	問診 便潜血検査(2日法)	○地区会館等(町内会回覧板等で予約) ○各区保健センター等(予約制) ○北海道対がん協会札幌がん検診センター※1 ○実施医療機関※3	400円
子宮がん 検診	満20歳以上で 原則※偶数歳の女性 (2年に1回) ※直前の偶数歳時に札幌市子宮がん検診を受診していない奇数歳の女性は受診可能です。	①問診・視診・子宮頸部の 細胞診・内診 ②子宮体部の細胞診 (医師の判断により実施)	○北海道対がん協会札幌がん検診センター※1 ○実施医療機関※3	① 1,100円 ①+② 1,700円 ① 1,400円 ①+② 2,100円
乳がん 検診	満40歳以上で 原則※偶数歳の女性 (2年に1回) ※直前の偶数歳時に札幌市乳がん検診を受診していない奇数歳の女性は受診可能です。	問診 乳房エックス線検査 (マンモグラフィ検査) 40歳代 2方向撮影 50歳代以上 原則※1方向撮影 ※医師の判断により2方向撮影とする場合もある。	○北海道対がん協会札幌がん検診センター※1 ○実施医療機関※3	2方向撮影 1,300円 1方向撮影 1,100円 2方向撮影 1,800円 1方向撮影 1,400円
	満40歳～満49歳の 女性はマンモグラフィ 検査と併用可能	超音波検査 ※マンモグラフィ検査の受診時に、 超音波検査に同意した満40歳～ 満49歳の女性が対象	○北海道対がん協会札幌がん検診センター※1 ○実施医療機関※3	800円
肺がん 検診	満40歳 以上の方 (1年に1回)	①問診・胸部エックス線検査 ②喀痰細胞診 (問診の結果により実施)	○地区会館等(住民集団健診時に併せて実施、予約不要) ○ // (町内会回覧板等でご案内の日程、予約不要) ○各区保健センター等(集団検診時、予約不要) ○北海道結核予防会札幌複十字総合健診センター※2 ○北海道対がん協会札幌がん検診センター※1	① 無 料 ①+② 400円
胃がん リスク判定	満40歳の方 (生涯に1回)	問診 血液検査 ・血清ペプシノゲン検査 ・ヘリコバクターピロリ抗体検査	○北海道対がん協会札幌がん検診センター※1 ○実施医療機関※3	900円 1,000円
前立腺がん 検査	満50歳～満69歳で 原則※偶数歳の男性(2年に1回) ※直前の偶数歳時に札幌市前立腺がん検査を受診していない奇数歳の男性は受診可能です。	問診 血液検査(PSA検査)	○北海道対がん協会札幌がん検診センター※1 ○実施医療機関※3	500円

●実施医療機関の予約連絡先

※1 住所:東区北26条東14丁目 ☎748-5522

※2 住所:北区北8条西3丁目札幌エルプラザ5F ☎700-1331

予約は医療機関等へ直接お申し込みください。予約時に「札幌市のがん検診を受診したい」とお伝えください。

※3 実施医療機関掲載ホームページ

二次元コード



■検診に持参するもの 氏名、年齢、住所を確認できるもの(健康保険証等) ※胃がん検診(内視鏡検査)受診の場合は、健康保険証必須

■札幌市がん検診の対象者のうち、費用が免除される方【確認書類】

1 市・道民税非課税世帯の方【市・道民税課税証明書(18歳以上の世帯員全員分)、または65歳以上で保険料段階が第1、2、3段階の介護保険料納入通知書等】

2 生活保護世帯の方【生活保護受給証明書、生活保護世帯健康診査受診券】

3 満65～69歳の方で、後期高齢者医療被保険者の方【後期高齢者医療被保険者証、後期高齢者健診受診券】

4 満70歳以上の方【70歳以上であることが証明できるもの…健康保険証等】

5 中国残留邦人等支援給付世帯の方【本人確認証】

※症状がある方や妊娠中・授乳中の方、または今までにかかった病気によっては、札幌市がん検診を受けられないこともありますので、主治医にご相談ください。

一般的なお問い合わせ:札幌市コールセンター(年中無休 8時～21時) TEL 222-4894

担当:札幌市保健福祉局ウェルネス推進部がん検診担当 TEL 011-211-3514、各区保健センター

詳しくはホームページをご覧ください 札幌市がん検診 検索 <https://www.city.sapporo.jp/hokenjo/sapporosigankensin.html>



さっぽろ市
02-F06-24-27
R6-2-20



がんは、早期発見すれば
90%以上が治ります。^{※1}

ぜひ、この機会にお受けください。

あなたが受けるべきがん検診がわかります。^{※2}

該当する年代をご覧ください。

札幌市

※1 ここでいう「治る(=治癒)」とは、診断時からの5年相対生存率です。

相対生存率は、がん以外の原因で亡くなる人の影響を除いた数値です。

出典: 全がん協加盟施設における5年生存率(2009～2011年診断例)

※2 男性は40歳から、女性は20歳から、国によって対策型検診として推奨されているがん検診をご紹介します。

男性の方へ



40代男性死亡原因1位が、**がん**になりました。

がんは高齢者だけの病気ではありません。
40代はがんが増え始めるため、検診によって
早期発見することが大切です。

40代男性の死亡者数
ワースト5 (2018年)^{※3}

1位	がん	7,215人
2位	自殺	3,396人
3位	心疾患	2,630人
4位	脳血管疾患	2,030人
5位	不慮の事故	1,212人

あなたに必ず受診して欲しい、3つのがん検診 (なりやすいがん順)^{※4}

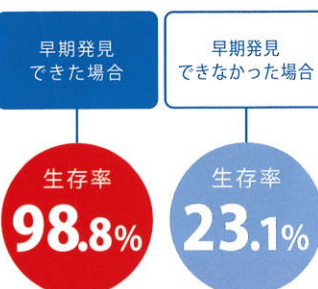
- 1 大腸がん
- 2 胃がん
- 3 肺がん



50代はそろそろ“がん年齢”。
でも、定期的な検診受診で、**自覚症状**が出る前に
がんは**早期に発見**できます。

大腸がん・胃がん・肺がんは、早期発見によって80%以上が
治癒します^{※5}。

発見時期による5年生存率
(大腸がんの場合)^{※5}



あなたに必ず受診して欲しい、3つのがん検診 (なりやすいがん順)^{※4}

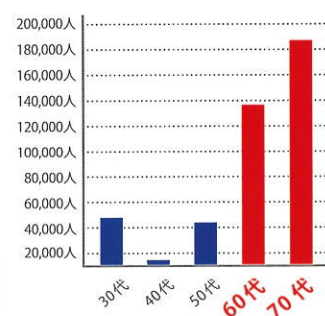
- 1 大腸がん
- 2 胃がん
- 3 肺がん



60歳を過ぎると、がんになる人は**激増**。
毎年、**約15万人の60代男性が**、がんになっ
ています^{※4}。

早期のうちは自覚症状がないため、検診を受けないと
見つけれません。だからこそ、検診による早期発見が大切。

年代別がんになる人の数
(男性)^{※4}



あなたに必ず受診して欲しい、3つのがん検診 (なりやすいがん順)^{※4}

- 1 胃がん
- 2 大腸がん
- 3 肺がん

タバコを吸う方へ



たばこを吸う人は吸わない人に比べて、男性でおよそ**4.4倍** (女性の場合は約2.8倍)、
肺がんになりやすいことがわかっています^{※6}。

自身の身を守るため、喫煙している人は必ず肺がん検診を受診しましょう。

※3 出典：人口動態統計 (2018年)

※4 国立がん研究センターがん情報サービス「がん登録・統計」(全国がん登録、2016年)

※5 ここでいう「治癒 (= 治癒)」とは、診断時からの5年相対生存率です。相対生存率は、がん以外の原因で亡くなる人の影響を除いた数値です。
出典：全がん協加盟施設における5年生存率 (2009~2011診断例)

※6 Wakai K et al. (Jpn J Clinical Oncol 2006;36:309-324)

※7 国立がん研究センター希望の虹プロジェクトによる推計値

女性の方へ



20歳を過ぎたら**2年に一度**、
必ず**子宮頸がん検診**を受診してください。

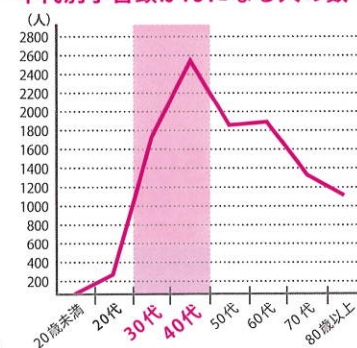
「まだがん検診は関係ない」そう思いませんか？

子宮頸がんは、20代後半以降から増えるがんです。ただ、早期のうちに治療すれば、
90%以上が治癒し、妊娠・出産にも大きな影響はありません^{※4}。

でも、早期の段階では自覚症状がないため、検診を受けないと見つけれません。

子宮頸がん検診は、あなたの**命と子宮**を守るための検診です。

年代別子宮頸がんになる人の数^{※4}



40代女性の約**2人に1人**が、**乳がん検診**を受診
しています。でも、乳がんの他にも気をつけなければ
いけない**がん**があるのをご存知ですか？

子宮頸がん・大腸がん・胃がん・肺がんといった、乳がん以外の
がんにも、毎年約8千人の40代の女性がなっています^{※4}。

あなたに必ず受診して欲しい、5つのがん検診 (なりやすいがん順)^{※4}

- 1 乳がん
- 2 大腸がん
- 3 子宮頸がん
- 4 胃がん
- 5 肺がん



50代は、女性の身体が大きく変わる年代。
がんで死亡する人の数も大きく**増加**します。

乳がん・大腸がん・胃がん・肺がん・子宮頸がんといったがんは、
早期発見で80%以上が治癒します^{※5}。しかし、早期のうちは
自覚症状がないため、検診を受けないと見つけれません。

あなたに必ず受診して欲しい、5つのがん検診 (なりやすいがん順)^{※4}

- 1 乳がん
- 2 大腸がん
- 3 胃がん
- 4 肺がん
- 5 子宮頸がん

左記の5つのがんによる
50代女性死亡者数^{※3}

計**5,309人**



がんになったら治らない、そう思いませんか？
がん検診を対象者がみな正しく受けると、
毎年日本全国で約**6万7千人の命**が救われます^{※7}。

(ここでいうがん検診とは、推奨されている以下の5つの検診を指します)

女性がなりやすい5つのがんは、検診による早期発見で
80%以上が治癒します^{※5}。

あなたに必ず受診して欲しい、5つのがん検診 (なりやすいがん順)^{※4}

- 1 大腸がん
- 2 乳がん
- 3 肺がん
- 4 胃がん
- 5 子宮頸がん

発見時期による5年生存率
(大腸がんの場合)^{※5}



(2) がんの2次予防

診断と治療の進歩により、がんは早期発見・早期治療が可能となりました。がん検診によって、がんを早期発見し、適切な治療を行うことで、がんによる死亡者数を減少させることが可能です。

がんによる死亡者数の減少のためには、がん検診の受診率を上げるとともに、がん検診で要精密検査となった人の精密検査の受診率を上げること、科学的根拠に基づくがん検診を行うことが必要です。

1 受診率向上対策

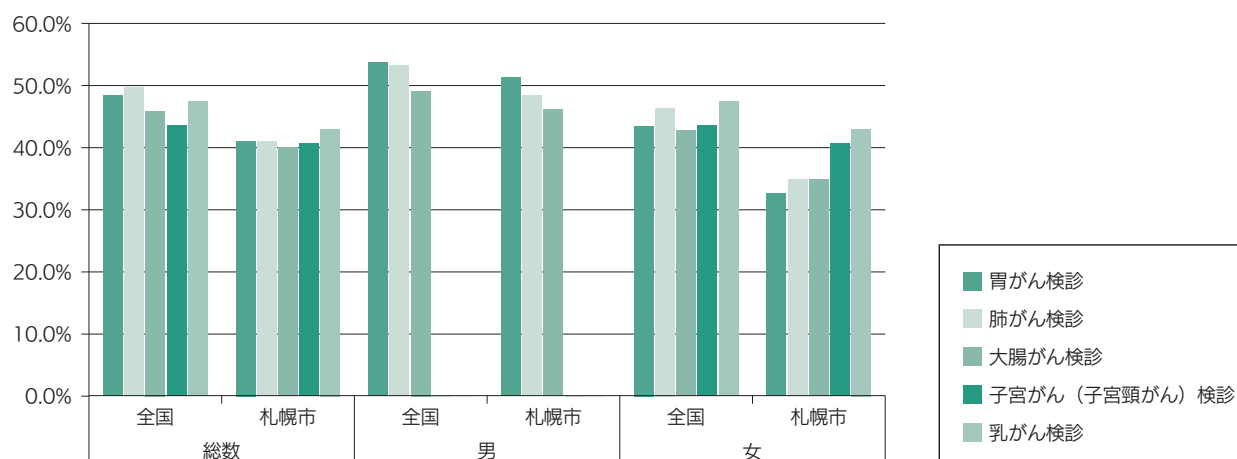
■ 現状と課題

がん検診は、健康増進法に基づいて各市町村が実施する「対策型がん検診」、事業主・保険者によって実施される「職域検診」、個人が受診する「個人検診」があります。

札幌市では、新型コロナウイルス感染症の影響を受けてか受診率はほぼ横ばいとなっており、全国に比べても低い結果となっています。

また、令和2年度に実施した「がん検診受診率実態調査」では、就労状況及び加入する健康保険の種類は、がん検診受診率と高い関係性があることが明らかになっています。

【図表32】令和4年度におけるがん検診の受診率



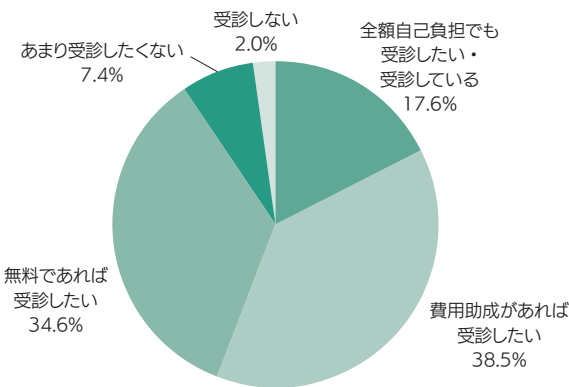
出典：令和4年 国民生活基礎調査（厚生労働省）

		胃がん検診	肺がん検診	大腸がん検診	子宮（頸）がん検診	乳がん検診
全国	総数	48.4%	49.7%	45.9%	43.6%	47.4%
	男	53.7%	53.2%	49.1%	—	—
	女	43.5%	46.4%	42.8%	43.6%	47.4%
札幌市	総数	41.1%	41.0%	40.0%	40.7%	43.0%
	男	51.3%	48.4%	46.1%	—	—
	女	32.6%	34.9%	34.9%	40.7%	43.0%

令和4年度に実施した「がんに対する市民意識調査」では、約9割ががん検診の受診意向を示しており、自己負担があっても約6割が受診意向を示しています。

一方で、がん検診を受診しなかった理由として、「定期的に受ける健康診断の検査項目に入っていなかった」「心配なときはいつでも医療機関を受診できるから」「健康診断や検診・検査を受けるのが面倒だったから」「検診に費用がかかるから」などが理由の上位を占めています。

【図表33】がん検診の受診意向



出典：令和4年 がんに対する市民意識調査（市民向け）（札幌市）

【図表34】がん検診を受診しなかった理由

	肺がん検診	大腸がん検診	胃がん検診	子宮（頸）がん検診	乳がん検診
有効回答数	291件	297件	199件	205件	150件
定期的に受ける健康診断の検査項目に入っていなかった	26.5%	30.3%	21.6%	22.4%	15.3%
検診・検査の案内がなかったから	10.7%	9.1%	5.5%	9.3%	1.3%
年齢的にまだ必要ないと思ったから	3.1%	2.4%	2.0%	7.3%	0.0%
健康状態に自信があり自分には必要ないと思っていたから	6.9%	6.1%	5.0%	8.8%	6.0%
心配なときはいつでも医療機関を受診できるから	24.4%	19.9%	29.1%	14.6%	26.7%
健康診断や検診・検査を受ける時間がなかったから	9.3%	9.8%	9.5%	11.2%	7.3%
健康診断や検診・検査を受けるのが面倒だったから	16.5%	15.8%	14.6%	18.0%	17.3%
検診に費用がかかるから	15.5%	14.1%	16.1%	21.5%	15.3%
検便などの提出を忘れてしまったから	0.7%	1.7%	1.0%	0.5%	0.7%
検査内容が怖い・不快だから	5.2%	9.4%	10.6%	16.6%	15.3%
がんが見つかるのが怖いから	5.2%	6.1%	8.0%	5.4%	4.7%
検診・検査の申込方法を知らなかったから	2.4%	4.0%	3.0%	5.9%	1.3%
検診・検査があることを知らなかったから	5.5%	4.7%	4.0%	7.3%	0.7%
検診・検査を受けられる場所・方法がわからないから	5.8%	7.7%	4.0%	10.2%	2.0%
検診を受けたくないから	10.0%	10.8%	11.1%	13.2%	20.7%
その他	3.1%	2.7%	5.0%	7.3%	6.0%

出典：令和4年 がんに対する市民意識調査（市民向け）（札幌市）

事業所向けアンケートの結果によると、それぞれのがん検診において全員・希望者のみを合わせて約5割が受診しています。一方で、約4割の事業所が実施していないと回答しています。

【図表35】事業所におけるがん検診の実施状況

	大腸がん検診	胃がん検診	肺がん検診	子宮(頸)がん検診	乳がん検診
有効回答数	523件	523件	515件	513件	515件
定期健診と合わせて、全員に実施している	32.1%	29.1%	32.2%	12.9%	13.0%
定期健診と合わせて、希望者にのみ実施している	26.6%	28.9%	22.9%	39.4%	39.8%
札幌市が行う検診を受けるよう勧めている	4.2%	4.4%	4.5%	7.0%	7.6%
定期健診とは別に実施 (人間ドック、単独の検査を実施するなど)	3.1%	4.2%	3.1%	2.5%	2.5%
実施していない	35.6%	35.4%	39.6%	39.6%	38.6%

出典：令和4年 がんに対する市民意識調査（事業者向け）（札幌市）

国の基本計画では、感染症発生・まん延時等にごがん検診の提供体制を一時的に縮小した場合でも、状況に応じて速やかに回復させることができる平時の対応について検討することが示されています。また、職域におけるがん検診について、必要に応じて法的な位置付けも含め、がん検診全体の制度設計について検討することが示されています。

これらの検討とともに、全てのがん検診の受診率について60%を目標値とすることとしております。

■ 施策の方向性

札幌市では、がん検診の受診率向上に向け、市民をはじめ企業や関係団体等を含めた幅広い対象に、がん検診の意義及び必要性について、適切な情報の普及啓発を行うとともに、がん検診を受診しやすい体制の整備に努めます。

子宮がん検診を受診するきっかけとなるよう、一定の要件を満たす方に、子宮頸がんの原因ウイルスであるHPVの感染状況を調べるHPV自己採取検査等の事業を令和4年度に開始したところです。

国では、子宮頸がん検診におけるHPV検査単独法導入の検討等の動きもあることから、引き続き国の動向を注視し、必要な検討を行います。

国の目標値を踏まえ、札幌市がん検診の受診率の目標値を60%に設定するとともに、国の動向を注視し、必要な取組を行います。

■ 具体的な取組

種別	事業名	事業内容	対象	所管課
継続	がん対策に関する普及啓発	関係機関と連携し、市民のほか企業等に向けた総合的ながん対策について、様々な媒体を利用した普及啓発を実施する。	市民 企業等	保)ウェルネス推進部 ウェルネス推進課
	無料クーポン券事業	国の要綱に基づき、年齢等の一定要件を満たす市民に対し子宮頸がん・乳がん検診等の無料クーポン券を送付する。	市民	保)ウェルネス推進部 ウェルネス推進課
	口腔がん予防啓発事業	市民の方が口の中を自己観察することで、口腔がんの早期発見・早期治療を目指し、正しい知識について普及啓発する。	市民	保)ウェルネス推進部 ウェルネス推進課
	がん検診の効果的な受診勧奨	国民健康保険加入者に対するがん検診の効果的な受診勧奨を検討して実施する。	市民(札幌市 国保加入者)	保)保険医療部 保険企画課
	札幌市子宮頸がん検診未受診者対策事業(再掲)	子宮がん検診受診のきっかけとすることを目的に、一定の要件を満たす方に、子宮頸がんの原因ウイルスであるHPVの感染状況を調べるHPV自己採取検査を実施する。	市民	保)ウェルネス推進部 ウェルネス推進課
新規	がん検診WEB及びコールセンター予約システムの導入	集団健診受診の際にWEBやコールセンターによる予約方法を設けることで、今まで検診を受診する機会が無かった市民に対し、利用しやすい環境を整備する。(令和8年度中開始予定)	市民	保)ウェルネス推進部 ウェルネス推進課